

# 生麦中だより

令和3年(2021) 4月【1号】

「互いを認め合い幸せをつくる」

<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/jhs/namamugi/>

## 「互いを認め合い 幸せをつくる学校を目指して」 ～新年度の始まりにあたり～

校長 山口 毅

229 名の新入生を迎え、横浜市立生麦中学校の令和3年度が始まりました。

全校生徒732 名で、今までの輝かしい歴史と伝統に加え、新しい校風づくりに、一人ひとりが主役となって、充実した中学校生活を送ることを願っています。

入学式で新入生代表として熊倉花海さんが「新入生誓いのことば」を述べてくれました。その言葉に以下の一節がありました。

小学校の生活を振り返ると、多くの方々の支えがあったことを改めて感じます。その支えのもの、私たちは多くの学びと大切な思い出、そして素晴らしい仲間との友情を得ることができました。

このような温かく強い心をもちながら、私たちは今日、新しい仲間と共に生麦中学校に入学します。

【～略～】

中学校では、早く新しい環境に慣れて、小学校で学んでことを生かしながら、計画的に取り組んでいきたいと思います。

中学生になると、今まで以上に自分の行動に責任をもって行動しなくてはなりません。生麦中学校の生徒として自覚を持ち、勉強や部活動、そして、より良い生麦中学校をつくることに、一生懸命取り組みます。

時には辛いことがあるかもしれませんが、今日出逢った新しい仲間とともに、支え合い、励まし合いながら進んでいきたいと思います。そして、生麦中学校の生徒として誇りを持ち、自分たちの夢に向かって頑張っていきます。

なんと素敵な「ことば」でしょう・・・

多くの支えに感謝し、多くの学び、大切な思い出、仲間との友情を「温かく強い心」と表現し、この生麦中学校に入学することを表してくれました。また、生麦中学校の生徒として、自覚と誇りを持ち、より良い生麦中学校をつくることに一生懸命取り組み、仲間と支え合い・励まし合いながら進んでいくこと、自分たち夢に向かって頑張ることを伝えてくれました。



生まれたばかりの赤ちゃんは、小さな手をぎゅっと結んでい  
る。右手に夢を、左手に運命の人の名を握っているから・・・で  
も、生まれた瞬間に手を開いてしまうから飛んでいってしまう。  
だから人は夢や運命の人を追い求め、生きていくのだ。  
かつて聞いた言葉です。

私は、「新入生と在校生は、生麦中学校の宝」と述べました。こ  
の状況下、子どもたちに負担が集中することのないよう、新  
入生の思いをしっかりと受け止め、子どもたちの成長のため  
に、教職員一同真摯に取り組んで参ります。今年度も変わら  
ぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新入生誓いの言葉：熊倉花海さん

## 学校教育目標

「コミュニケーション能力を身に付け、主体的に学習する生徒を育てます。」

- 思いやりの気持ちを大切にし、心の豊かさを育みます。
- 向上心を持ち、麦のようにたくましく生きる力を高めます。
- 想像力を豊かにし、社会に貢献する姿勢を養います。

## 学校経営中期取組目標

◆カリキュラムマネジメントを通して、学校教育力の向上を目指します。

○「自立のための基礎力」(「想像する力」+「やりとげる力」)の育成を目指します。

○「想像する力」の要素

- ➔「先を読む力(計画力)」「伝える力(発信力)」  
「聴く力(傾聴力)」「関係を理解する力(状況把握力)」

○「やりとげる力」の要素

- ➔「進んで取り組む力(主体性)」「あきらめない力(実行力)」「ルールや約束を守る力(規律性)」

○授業改善の視点を充実するとともに、生徒が主体的に取り組む授業の実践を推進します。

- ・授業改善を推進し、教師の授業力向上、生徒の学力向上に努めます。
- ・「教科会の充実」「授業研修の充実」を通し、コミュニケーション能力・主体的に学習する力の育成に取り組みます。
- ・評価の在り方について更なる研鑽を重ねるとともに、教育実践を行います。

○生徒一人ひとりが価値ある大切な存在として自覚できるよう生徒が個性を発揮できる・活躍できる場、機会の保証を推進します。

○挨拶を大切にし、強い意志を持って、しなやかに思考し、正しい行動を行う力を育てます。

- ・生徒が自他をかけがえのない存在として実感できるよう道徳教育及び人権教育のさらなる充実を図ります。

○地域活動に積極的に参加し、「まち」とのつながりを強め、まちを愛する心を育てます。

- ・傾聴、思考、協働、意思決定等の体験を通してコミュニケーション能力を向上させると共に、人とのつながりを感じ、自尊感情を育みます。

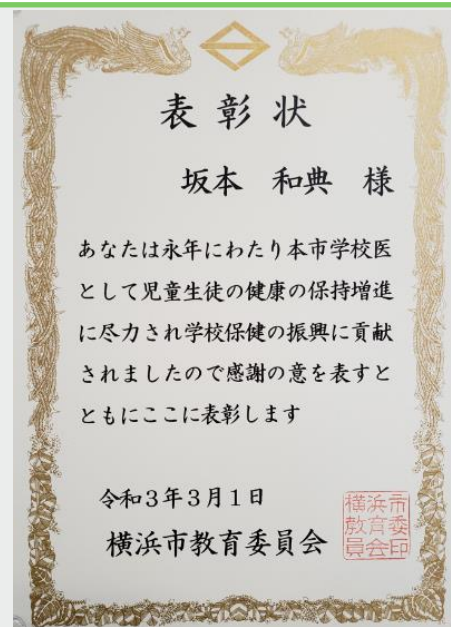
## 横浜市教育委員会表彰

横浜市教育委員会表彰では、永年にわたり学校地域協力・学校保健・社会教育などの分野において尽力をされました個人・団体を表彰しています。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大の中にあっても生徒の健康維持管理に尽力いただいている学校保健関係者の表彰がありました。

本校学校医であります坂本和典先生(内科)が永年にわたり、学校保健に貢献された学校医として横浜市教育委員会表彰となりました。

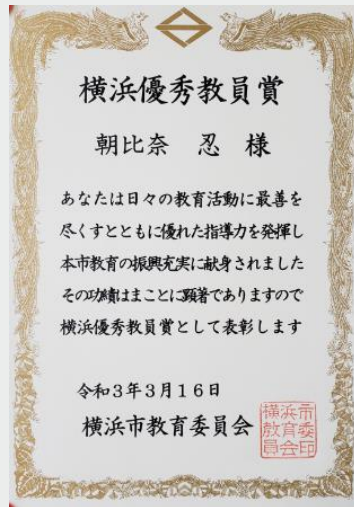
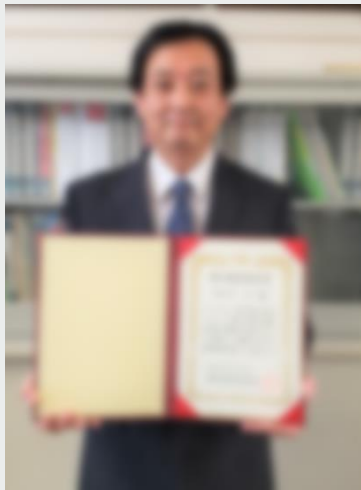
長年にわたり本校生徒の健康に携わっていただき、心より感謝申し上げます。今後ともご支援をよろしく願いたします。





## 横浜優秀教員表彰

## 離任退任された教職員



副校長	桑山 博	岡野中へ
主幹教諭	堂園 泰広	大鳥中へ
教諭	波多野久子	都岡中へ
教諭	中村 智	ご退職
教諭	伊藤 礼子	南中へ
教諭	村松 慎二	あかね台中へ
教諭	川原 久了	ご退職
拠点校指導員	手島 史喜	大綱中へ
教諭	足立 渉	丸山台中へ
保健室支援教諭	柵木 瞳	
サポート非常勤教諭	米田文子	

令和2年度 横浜優秀教員表彰がありました。表彰では、本校進路指導主任である朝比奈 忍先生が横浜市教育委員会（鯉淵信也教育長）より優秀教員賞の表彰を受けました。

これは、日々の教育活動に最善を尽くし、優れた指導力を発揮するなどの教育実践が認められたものです。

特に本校では、「カリキュラムマネジメントによる学校改革の推進」と捉えています。

朝比奈先生は、カリキュラム委員会委員長として、教育課程の管理・点検や新学習指導要領移行への対応、学校評価などの推進役として、学校ランドデザインの策定を推進しています。

同時に、本校生徒に必要な資質・能力を身に付けさせるため組織改革の中心としてリーダーシップを発揮しています。

生麦中学校を支えてくれている全ての職員と生徒の皆さんに感謝するとともに、今回の受賞を心から喜びたいと思います。おめでとうございます。

## 着任された教職員

副校長	森 康昭	英語	西谷中より
教諭	大形 恭子	英語	浦島丘中より
教諭	長谷川恵美子	英語	日吉台西中より
教諭	高橋 亮太	数学	日吉台中より
教諭	瀬瀬 智子	理科	深谷中より
教諭	中田 光一	英語	洋光台第二中より
教諭	小畑 早秋	美術	生麦中より
教諭	中野 肇	英語	岡野中より
教諭	樋口 雄哉	個別支援	錦台中より
派遣指導教員	宮下 美奈		浦島丘中より

## 【部活動紹介】



## 【部活動紹介】

